

こんにちは

会社訪問記

継続は力、
お客様のご要望に誠意を持って迅速に対応。

加藤産商

(名古屋市中村区)

地下鉄岩塚駅近くの住宅街に立地する加藤産商におじゃまし、加藤社長に事業内容および今後の展望などをお話していただきました。

— まず、事業内容を教えてください。

加藤社長（以下加藤に略）『当社は産業廃棄物処理と鋳物副資材の販売、鋳物中子の造型を行っています。もともとは鋳物関係を主力に事業を行ってきましたが、時代の流れとともに徐々に産業廃棄物処理の比率が高まってきました。』

— 産業廃棄物処理を手がけられるきっかけは何でしたか。

加藤『珪砂など砂の販売を通して出てくる残土を処理してほしいというお客様の要望に応えるために許可を取得したのが、産業廃棄物処理に参入するきっかけでした。』

— 事業エリアを教えてくださいませんか。

加藤『愛知県を中心に、三重県、岐阜県、そして名古屋市を事業範囲としています。』

— 現在、社員は何名いらっしゃいますか。

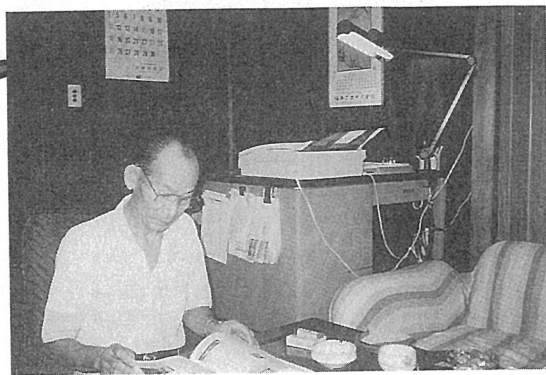
加藤『私を含めて4名です。現場作業及び営業はほとんど二代目に任せて、私は電話でフォローをするだけに徹しています。小規模な会社ですが、その分小回りが利く良さもあると思っています。』

— 二代目さんを含めて、社員教育にはどのような態度で接していらっしゃいますか。

加藤『まず、お客様あっての私たちだということを十分理解して仕事に取り組むようにさせています。こういう不況風の吹く時期だけに、とにかく一生懸命に仕事をやって、お客様に信頼していただけるように頑張れと常にはっぱをかけています。誠実に、どんな小さな仕事でも力を決して抜かずに努力すること。やはりこの仕事は信頼第一です。』



加藤社長



社内

— 会社のモットーは何ですか。

加藤『継続は力、です。縁があって取り引きをさせていただいたお客様の期待に沿えるよう、今まで培ったノウハウを武器に産業廃棄物の適正処理に邁進していきたいと思っています。当社は多角経営を行うような器用さを持ち合わせていないので、お客様との人間関係を大切に、とにかく誠意を持って、迅速に業務がこなせるよう努めています。私個人の信条は我慢強さです。地道にこれからもやっていきたいと思っています。』

— では、取扱品目を教えてください。

加藤『燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉋さい、建設廃材、ダスト類の9品目です。ほとんどが管理型なので、処分場不足に現在頭をさせているところです。品目自体は、お客様からご要望があればこれからも許可を取り、品目を増やしていきたいと考えています。』

— 最後にこれからの目標をお話してください。

加藤『今後、さらにどんな廃棄物が出るようになるやわかりません。これからも社員一丸となって安全面、知識面において研鑽を積み、勉強をしていきたいですね。』



社名/加藤産商 所在地/名古屋市中村区沖田町209番地 代表者/加藤末三
創業/昭和48年 従業員/4名 TEL/052(482)2556 事業所/本社、西春工場
営業種別/収集運搬 取扱品目/燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉋さい、建設廃材、ダスト類